

※印刷の都合上、実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。
※当カタログは、発行時点の仕様・商品情報に基づいて作成しております。
そのため、都合により予告なく仕様変更・廃番・色柄の改訂を行う場合も
ございます。
※当カタログは、仕様・商品の概略のみ記載しております。詳細につきましては、
各仕様書・要領書をご確認ください。
※記載重量は、梱包資材等を含まない正味重量です。
※当カタログの無断掲載、複製を禁じます。



ロンシール工業株式会社

防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

防水営業部

東京営業所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846
札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保 札幌大通ビル6F TEL.011-271-0411 FAX.011-271-0422
仙台営業所 〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号 TEL.022-301-8788 FAX.022-301-8767
北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号 TEL.048-664-1511 FAX.048-664-3431
横浜営業所 〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F TEL.045-662-7370 FAX.045-661-0860
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F TEL.06-6304-2704 FAX.06-6304-6948
名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F TEL.052-950-3200 FAX.052-950-3213
広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F TEL.082-506-2500 FAX.082-506-2514
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号 TEL.092-472-5857 FAX.092-473-6179
営業推進グループ 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

ホームページアドレス <https://www.lonseal.co.jp/>

ロンプルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036 (代) FAX.03-5600-4037

 弊社は40年の実績を誇るシート
防水材料の優良メーカーの団体
である当工業会の加盟会社です
合成高分子ルーフィング工業会
<https://www.krkroof.net>

お問い合わせ・お申し込みは

※弊社は、ロンシール機器株式会社と資本関係その他一切の関係がございません。

Vol.7.1a
(2024年7月)

ロンシールシート防水システム
— vol.7.1a —

LONSEAL

WATER PROOFING SYSTEMS

ロンシール シート防水システム

— vol.7.1a —



環境対応型
仕様

ロンシール

ロンシール

防水の未来はロン

屋上防水への塩ビシートの使用が始まってから、まもなく
総施工面積10,000万㎡以上、年間約400万㎡もの施工実

Pioneer

先駆

シート防水のパイオニア
「ロンシール」

安全で快適な防水を目指し
60年近くにわたって
進化を続けています!

P.3

Quality

品質

材料から施工まで
安定した品質は「ロンシール」

高品質の工具を続々と開発。
技能士のレベルアップにも
尽力しています!

P.5

Repair

改修

多彩な用途に対応!
改修も「ロンシール」

さまざまな下地の改修に対応可能で、
屋上緑化や太陽光パネルなど
オプションも豊富!

P.7

Performance

基本性能

ロンシールだからできる
高品質の防水システム

Ecology 環境
Economy 経済性
Quality 品質
Technology 技術

P.9

シールとともに

60年。それは、ロンシールのシート防水の歴史です。
績を誇り、常に業界のトップレベルを走り続けています。

CONTENTS

シート防水システム

【ロンシールシート防水システム】特長	3-10
【ロンシールシート防水システム】選択基準	11-12
防水システム早見表(一般仕様)	13-14
防水システム早見表(個別仕様)	15-16
国土交通省仕様記号別インデックス	17-18
システム仕様(一般仕様)	19-20
110仕様	19-20
123仕様	21-22
125・127仕様	23-24
126仕様	25-26
210仕様[US工法]	27-28
210仕様[UD工法]	29-30
225・227仕様[US工法]	31-32
225・227仕様[UD工法]	33-34
310・325仕様	35-36
システム仕様(個別仕様)	
ロンブルーフシャネツ・	
ベストブルーフシャネツ防水仕様	37-38
SD-B仕様	39-40
SD-S・EZ仕様[US・UD工法]	41-42
SD-F仕様[US・UD工法]	43-44
SD-S(DR-1648)仕様[US・UD工法]	45-46
SD-1仕様[US・UD工法]	47-48
ベストブループラス仕様	49-50
ロンレタン防水仕様[U-1]	51-52
ロンレタン防水仕様[U-2・U-3]	53-54
ロンレタン防水仕様[U-4]	55-56
オプション	
防滑性床材(ロンマットME・ロンステップME)	57-66
太陽光パネル設置工法	67-71
勾配屋根化粧材(ロンライン)	72
屋上緑化	73-74

シート防水システム

オプション			
保護材(ロンルーフマット)	75-76		
(ロンチップタイトル)	77		
保護塗料			
(ウェザートップ・ウェザートップN・ウェザートップシャネツ)	78		
脱気システム	79-80		
ルーフィング	81-84		
主要副資材	85-113		
納まり図例	114-123		

FPIS屋根

【FPIS屋根】	124
システム仕様(個別仕様)	125-126
特長	127
個別仕様資材	128
注意事項・納まり図例	129

長期防水保証システム

【長期防水保証システム】	130
システム仕様(個別仕様)	131-132
LSP-210US仕様	131-132
LSP-225US仕様	133-134
特長	135
注意事項	136
個別仕様資材	137-138
納まり図例	139

エルエスプール防水システム

【エルエスプール防水システム】	140
システム仕様(個別仕様)	141-142
個別仕様資材	143-148
プールサイド用防滑性床材	149-152
納まり図例	153

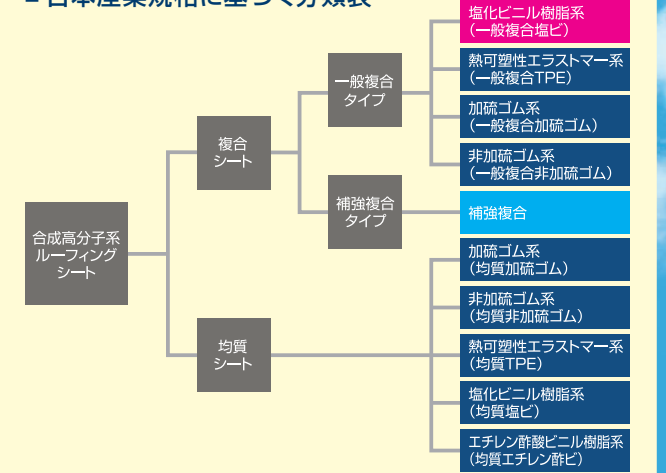
資料

【資料】	154
公的仕様書	155-166
FM	167-169
【関連技術資料】	170
耐風圧性	171-176
機械的固定工法(UD工法)	177
断熱性	178-180
遮熱性	181-182
耐火性・防火性	183-188
消防法(危険物)・特化則	189
耐薬品性・透湿性	190
ドレインの排水性	191-192
ロンシール製品を正しくご使用いただくために	193-194
ロンシール製品を正しくご選択いただくために	195-196
施工実績	197-198
索引	199-200
沿革	201-202

■日本産業規格に適合した、ロンシールのルーフィング

ロンシールのルーフィングは、JIS A 6008「合成高分子系ルーフィングシート」の規格に適合するもので、シート防水の先駆けとして日本のシート防水の発展をリードしてきました。その豊富な経験と実績をベースに塩化ビニル樹脂の特性を最大限に活かした各種材料と仕様を用意し、信頼ある防水システムとして幅広い分野で活躍しています。

■日本産業規格に基づく分類表



■JISマーク表記について

本カタログではJIS規格の性能を満たしていても、認証を取得していない製品や、接着剤や断熱材など委託製造元にて認証を取得した製品については、JISマークの表記をしていません。弊社土浦事業所にて生産、認証を取得した製品にのみ、JISマークを表示しています。認証の内容については下記通りです。

【JIS認証の内容】

<ルーフィング>
認証番号：QA0307073
認証日：2008年2月19日(再発行日：2019年12月10日)
JIS番号、及び製品または加工技術の名称：
JIS A 6008 合成高分子系ルーフィングシート
JISで規定する種類または等級：一般複合塩ビ、補強複合
認証事業場：ロンシール工業株式会社 土浦事業所
認証登録機関：日本検査キューエイ株式会社

<床材>
認証番号：QA0307072
認証日：2008年2月19日(再発行日：2019年12月10日)
JIS番号、及び製品または加工技術の名称：JIS A 5705 ビニル系床材
JISで規定する種類または等級：FS、HS
認証事業場：ロンシール工業株式会社 土浦事業所
認証登録機関：日本検査キューエイ株式会社

Pioneer

シート防水のパイオニア「ロンシール」

先 駆

1959年、国内メーカーとして初めて塩ビシートを半世紀あまりにわたって、つねに安全で快適な防水

屋上に使用したロンシールは、シート防水のパイオニア。システムの研究・開発を続けています。

断熱性能と防火性能を高レベルで実現!! 「FPIS屋根」

2014年、ロンシール工業は、JFE建材(株)と旭化成建材(株)と共同で高断熱屋根耐火認定構法「FPIS屋根」を開発しました。従来の耐火認定取得済み、下地デッキプレートによる防水工法ではなく、断熱材・防水シートまで含んだ構造体で屋根30分耐火認定を取得。あわせて、防火(飛び火)認定を取得することで、高い安全性と高断熱性能を両立した金属下地屋根防水構法です。

FPIS屋根 >>> P.124

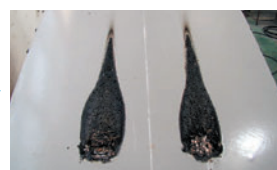
屋根30分耐火認定試験



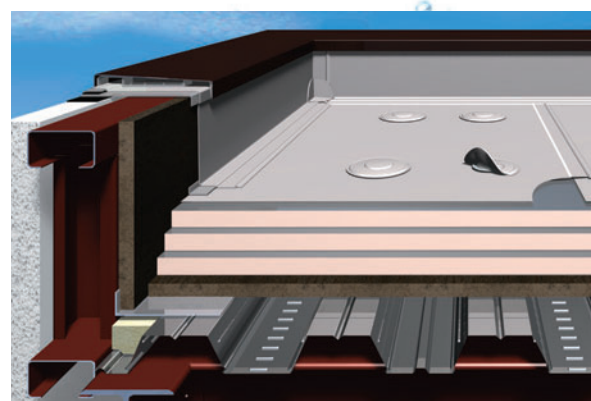
防火(飛び火)認定試験



試験開始直後



試験後の状況



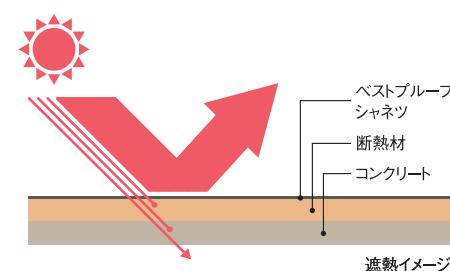
シート防水業界で先駆けて、遮熱防水工法を開発



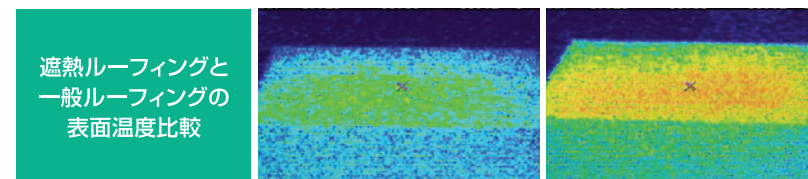
ベストブルーフシャネツ防水仕様の施工例

ロンシールは、2003年に塩ビシート防水用の遮熱塗料「シャネツコート(現在は販売終了)」を開発。翌2004年に防水シートに技術を展開し、「ベストブルーフシャネツ」を発売。シート防水では初めて、太陽光線中の近赤外線を反射することで屋上の温度上昇を抑制する遮熱(高反射)を組み込みました。その結果、一般的なルーフィングを使用した時に比べ、建物躯体・屋内の温度上昇の抑制とともに、ヒートアイランド現象の緩和、冷房効率のアップが期待できます。外断熱工法と組み合わせればさらに効果的です。また、遮熱性能の発揮が困難な「グレー色」でも日射反射率を確保。2010年には、グリーン購入法の特選調達品目にも組み込まれた注目の技術です。

ロンブルーフシャネツ・ベストブルーフシャネツ防水仕様 >>> P.37



遮熱イメージ



遮熱ルーフィングと一般ルーフィングの表面温度比較

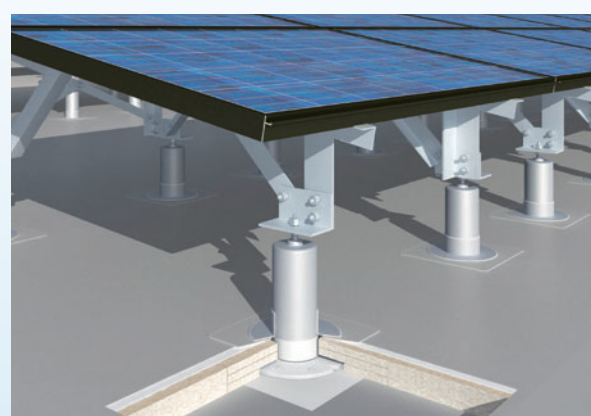
遮熱ルーフィング

一般ルーフィング

専用の架台で、太陽光設置時の漏水リスクを軽減
「PV支持架台」「PV-L支持架台」「PV-H支持架台」

クリーンエネルギーとして注目をされる太陽光発電システム。その設置の拡大に伴い、防水層に穴をあけて漏水事故が多発しています。ロンシールでは、このような漏水事故を未然に防止するため、ロンシールシート防水と一体化可能な太陽光設置専用の架台「PV支持架台」「PV-H支持架台」「PV-L支持架台」を2010年より順次発売。従来のコンクリート架台に比べ、軽量・短工期で設置が可能になるとともに、塩ビを被覆した架台のため、防水シートと溶剤溶着・熱風融着により水密性能を確保。漏水リスクを低減します。

太陽光パネル設置工法 >>> P.67

防水事業協同組合員と連携!
長期防水保証システム

シート防水施工風景

長年の信頼と実績で培ったルーフィングの技術に、ベストブルーフシャネツで採用した遮熱技術を加えた防水シート「ロンブルーフSP」を使用した、専用防水工法です。防水工事保証は、材料メーカーである「ロンシール工業(株)」の材料保証と防水施工業者の「ロンブルーフ防水事業協同組合員」の工事保証の両立が必須。そのため、ロンブルーフ防水事業協同組合員でも、認定施工管理者/施工技能士制度を設け、高い施工レベルを確保することで、最大15年の防水保証システムを2009年より発売開始しました。改修サイクルの長期化、建物のライフサイクルの中での改修回数の低減が見込まれ、資産価値の向上にもつながります。

長期防水保証システム >>> P.130

Quality 材料から施工まで 安定した品質を確保

品質

よりすぐれた施工品質を実現するために、いかなる「UD BOX Ⅲ」をはじめとする新しい工具を続々と

努力も惜しまないのがロンシールのスタイル。開発しているほか、技能士のサポートや育成にも力を注いでいます。

施工品質を高めるさまざまな工具を開発!

防水の品質は、材料・施工の両方の品質があって初めて成り立ちます。しかし、近年の技能士不足は年々深刻化しており、施工品質の確保は重要な課題です。そのため、ロンシールでは先付け機械的固定工法(UD工法)の品質を確保するため、ディスク位置を正確に検知し接合が可能な「UD BOX Ⅲ」を開発。従来のUD BOXに比べ精度の高い施工を可能としました。

また、ディスクを下地に固定する際に、変形を防止し施工品質の向上と省力化をはかる「フォームレスドライバー」、任意の位置に皿穴をあける「パンチホール」など、施工品質を確保するため、さまざまな工具を開発しています。



パンチホール



フォームレスドライバー

誘導加熱装置「UD BOX Ⅲ」
位置がずれている場合 位置が合っている場合

UD BOX Ⅲ/フォームレスドライバー >>> P.108 パンチホール >>> P.109

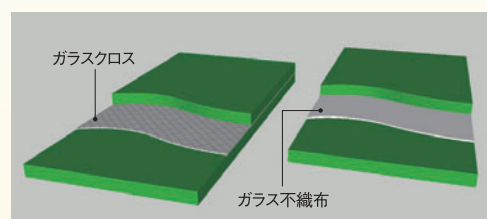
工場一貫生産体制で、高品質の製品を実現 様々な副資材を用意

ルーフィングは、補強材を芯材とした強化構造で、抜群の寸法安定性を実現。工場一貫生産により安定した品質を実現するとともに、「JIS A 6008 一般複合タイプ」認証を取得。2017年4月には「JIS A 6008 補強複合タイプ」認証も取得しました。また、品質管理の面では「ISO 9001」認証を取得し、高い信頼性を維持しています。

副資材の面でも、多様化する屋上の防水性能を確保するため、様々な部材を用意。確実な防水施工のための材料を提供しています。



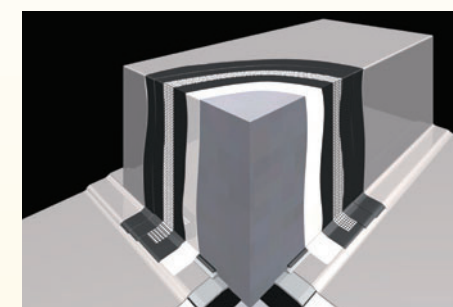
生産風景



ガラスクロス

ガラス不織布

ウレタン塗膜防水「ロンレタン」との複合防水により 複雑な部位での防水性能を確保!



ロンレタン防水とシートの取り付け例 (架台部)

実際の屋上は、架台や鳩小屋、臭気筒、パラペットなどシート防水だけでは施工が困難な部位が多くあります。その様な部位に対しては、ウレタン塗膜防水「ロンレタン防水」を併用して、確実に防水性能を確保します。また、屋上の部位だけでなく、開放廊下・外階段においても、ロンマットME・ロンステップMEと併用して使用します。

ロンレタン防水仕様 >>> P.51

施工現場へのサポートや技能士育成にも尽力!

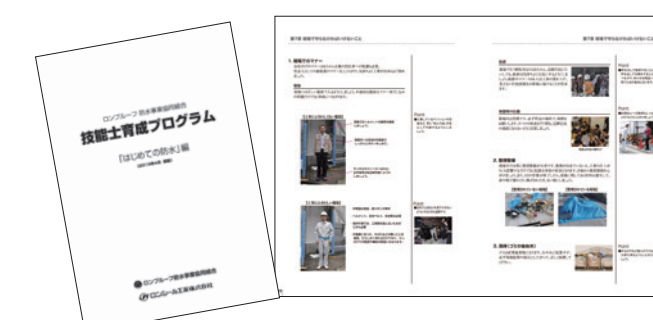


施工技術者向け講習会



施工台を使用している施工指導

防水の施工品質を維持するためには、施工面のサポートも重要。1971年に東日本ロンブルーフ防水事業協同組合、1972年に西日本ロンブルーフ防水事業協同組合を設立。現在では、「ロンブルーフ防水事業協同組合」となり、全国200社にまたがる施工組織になっています。施工業者に対しては、定期的な講習会や施工指導などをサポート。また、近年深刻になっている技能士不足に対しても、各施工業者の若手育成を補助する教育資料を配布したり、個別の講習会を開くなど、施工品質確保のため施工業者と協力して進めています。



技能士育成プログラム

Repair 多彩な用途に対応! 改修も「ロンシール」

改修

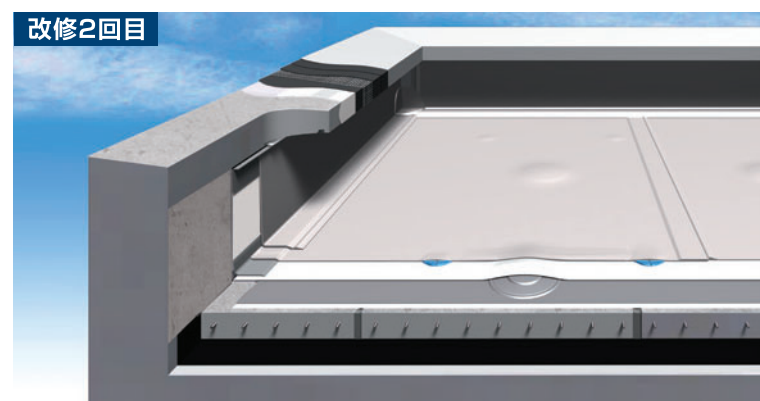
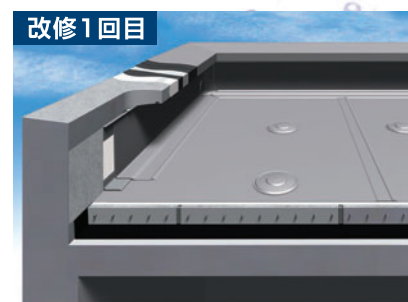
ロンシールは、建物の置かれた状況に応じて、適切な時期、方法とともに的確な改修をすることで、ライフ

改修をご提案します。
サイクルコストが下がり、資産価値を高めることができます。

2回目・3回目の改修もお任せ! ロンシールのシート防水

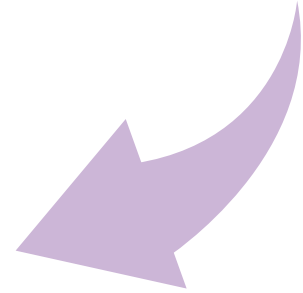
建物の寿命は、年々長寿化しています。しかし、防水工事の保証期間は一般には10年で、定期的な修繕計画・防水改修が必須です。ロンシールのシート防水は、**機械的固定工法で施工すれば、既存防水層にかぶせて施工できるので、1回目の改修だけでなく、2回目、3回目の防水改修も可能です。**

また、下地が十分に乾燥していれば、ルーフィングの持つ透湿性と機械的固定により湿気が分散されるので、脱気装置の設置を省略できる場合もあります。



改修2回目
シート防水層

改修1回目 シート防水層
新築時の防水層



診断結果から見る劣化度
ロンブルーフの場合

劣化度Ⅰ
箇所により補修が必要

劣化度Ⅱ
部分補修または大規模改修が必要

劣化度Ⅲ
大規模改修が必要



最適な改修時期を提案し ファシリティマネジメントをサポート!

建物を最大限に活用するためには、適切な改修が不可欠であり、そのための診断も非常に重要です。ロンシールの「非破壊劣化診断システム」は、塩ビシート防水が始まって50年あまり、過去実際に施工された「ロンブルーフ」を回収・分析することで培ったデータに基づき、専用の試薬によって非破壊で劣化度を判定するシステムです。**診断結果に基づき、適切にメンテナンスをすることで、長期的な建物の維持・保全が可能になるだけでなく、適切な時期に改修することで、ライフサイクルコストの低減にもつながります。**



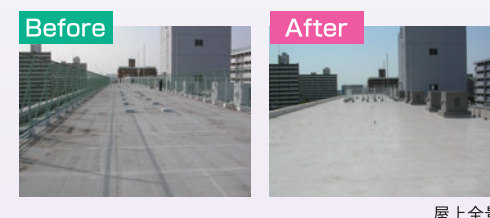
「非破壊」劣化度診断機器

写真はイメージです。

ロンシールの防水は さまざまな建物に対応

RC、ALC、PC木質下地、金属下地など、**ロンシールのシート防水は新築、改修を問わず、様々な下地に対応**することが出来ます。また、建物用途としても、一般的なビル、マンションの屋上に限らず、住宅のベランダなど、様々な屋根・部位に対応。幅広く使用することができます。

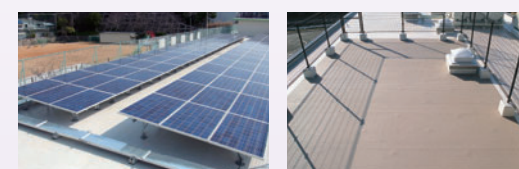
防水システム早見表 >>> P.13



屋上全景



屋上緑化(ロングリーン仕様)の施工例



太陽光パネル

ロンマットME

改修と合わせて さまざまな展開をご提案!

改修に合わせ、単なる防水工事だけでなく、**さまざまなオプションを組み合わせることで、多様な機能を付与**できます。専門メーカーとのタイアップによる屋上緑化システム「ロングリーン仕様」、太陽光パネルの設置「PV支持架台/PV-L支持架台/PV-H支持架台」、歩行仕様時の安全性を高める防滑性床材「ロンマットME」、「ロンマットME レストリア デザインカット」などの展開が可能です。

屋上緑化 >>> P.73 太陽光パネル設置工法 >>> P.67
ロンマットME >>> P.57

Performance ロンシール だからできる高品質の防水システム

基本性能

Ecology 環境

F☆☆☆☆/4VOC 基準適合接着剤による 環境対応型仕様機械的固定工法による 廃棄物の低減

接着剤は、防水業界に先駆けて「F☆☆☆☆」「JAJA 4VOC基準適合」品を導入。屋外から室内への流入まで配慮した材料選定を行っています。
また、機械的固定工法により既存の防水層の撤去を行わず改修することで、廃棄物を低減。材料・施工の両面から環境に配慮しています。

環境対応型 仕様



工場内リサイクルやエコ事業所登録で環境意識を向上

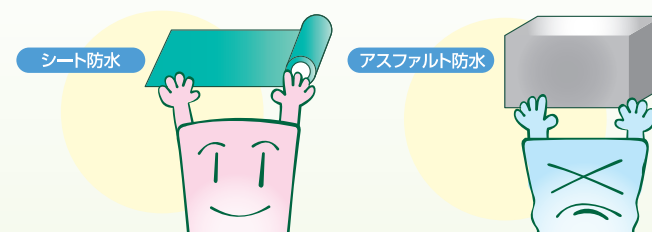
製品の生産における環境負荷の軽減のため、リサイクルを積極的に推進、廃棄物の削減に取り組んでいます。
また、2007年には環境マネジメントシステムであるISO14001を取得。茨城県エコ事業所にも登録。
2021年には新たにイノベーションセンター開設し、更に環境に配慮した製品開発を押し進めています。



Economy 経済性

軽量なルーフィングで 建物負荷を軽減

ロンシールのシートの建物への荷重は約4.0kg/m²。アスファルト防水に比べ、1/3~1/6と軽量で、建物負荷が軽減されます。
また、すぐれた耐久性能により、長期的なライフサイクルコストの面でも負担を軽減できます。



高い断熱性能を発揮する 外断熱工法

ロンシールの断熱工法は外断熱工法。躯体の変動を抑制することで躯体を保護するとともに、冷暖房費の節減や結露防止などの効果を発揮します。



接着・断熱工法



機械的固定・断熱工法

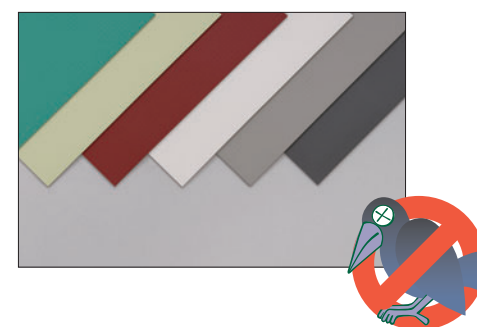
Quality 品質

高い接合性能により、抜群の水密性能を発揮

塩化ビニルの特長でもある溶剤溶着・熱風融着により一体化。抜群の水密性能を発揮します。プールのような水を貯める用途に対しても、多くの実績があります。



様々なカラーバリエーション・汚染物質や鳥害に強い

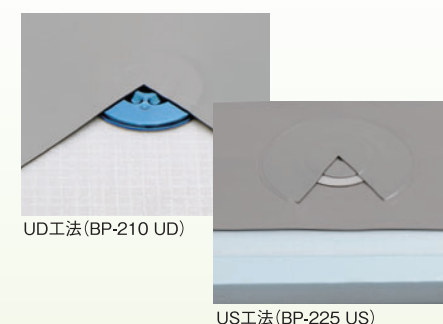


紫外線に対して強い様々なカラーをラインナップ。予め着色されているため、保護塗料を必要としません。海岸地域の塩害や工業地域の酸性雨、汚染物質による物性変化が少なく、建物を保護することが出来ます。
また、すぐれた耐圧縮性を持ち、カラスのつばみによる穴あき事故が発生しにくいことが実証されています。

Technology 技術

基準風圧の約 2 倍の耐風圧性能

ロンシールの機械的固定工法は、ディスク後付け工法 (US工法) と先付け工法 (UD工法) の2種類。通常の屋根においては、建築基準法で要求される耐風圧性能の約2倍で安全率設計を行っています。



UD工法 (BP-210 UD)

US工法 (BP-225 US)

安心の自己消火性のルーフィング

ロンシールのルーフィングは、塩化ビニルの持つ自己消火性により、建築基準法で定める技術的基準に適合します。規定外の条件においては、より難燃性能を高めたシートを使用するなどの条件で、防火 (飛び火) 試験を実施し、個別の大臣認定を取得しています。

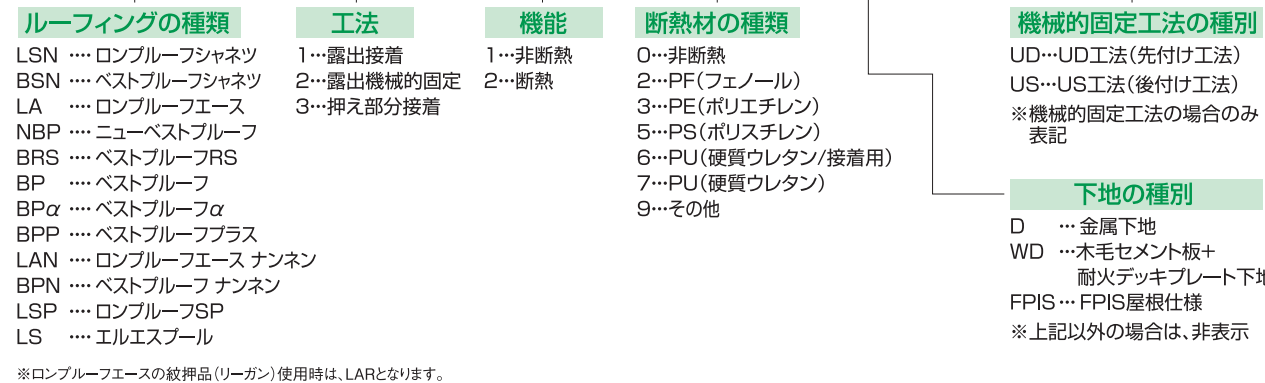


防火 (飛び火) 試験

シート防水システムの仕様

仕様記号の説明

LA-210D UD

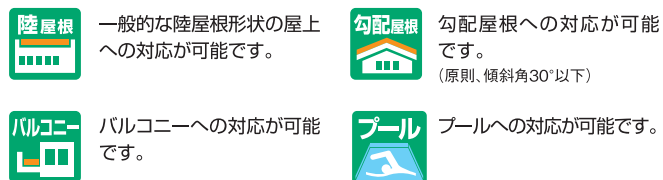


シート防水システム選択基準

仕様・工法を選択する場合、右記に主な選択項目を提示していますので、P.13～18の「システム早見表」「国土交通省仕様記号別インデックス」をご覧ください。また、選定・施工にあたっては、各仕様書、マニュアル、技術資料にて詳細をご確認ください。

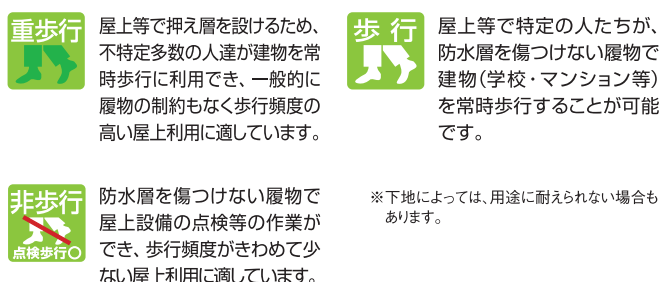
1 適用部位

どのような建物形状や部位に対して防水工事を行うか選択します。



2 用途

屋上を歩行するか、歩行しないか。または、車いすの通行やスポーツ施設等に使用するか等、屋上の用途を選択します。



3 仕様

防水層を露出させるか、防水層の上に保護用の補強を行うか選択します。



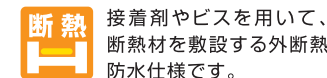
※露出仕様には、保護材のオプションが用意されています。

- 国土交通省 公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)
- 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(平成31年度版)
S-F2 / SI-F2 / S-M2 / SI-M2 / X-1 / X-2
……各種記号は国土交通省の指定する建築仕様の種類を表しています。
- 日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS 8)
S-PF / S-PFT / S-PM / S-PMT / 参考となる仕様(ノ) / L-UFS / L-USS
……各種記号および文言は、社団法人日本建築学会の指定する建築仕様の種類を表しています。

公的仕様書に関する詳細は、P.154～166をご覧ください。
※適合仕様には、特記により使用可能な仕様が含まれています。

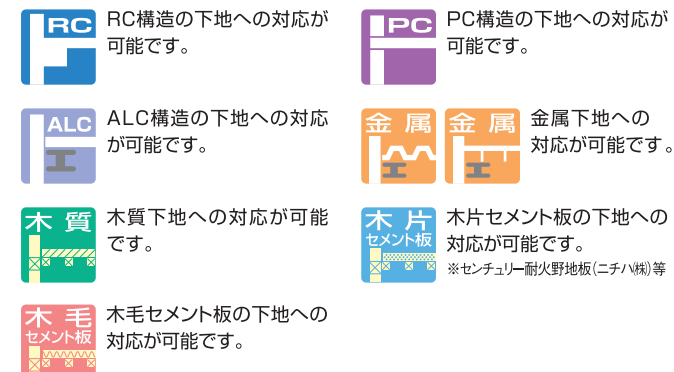
4 断熱

各種断熱材の使用により、屋上の外断熱効果をもたらします。



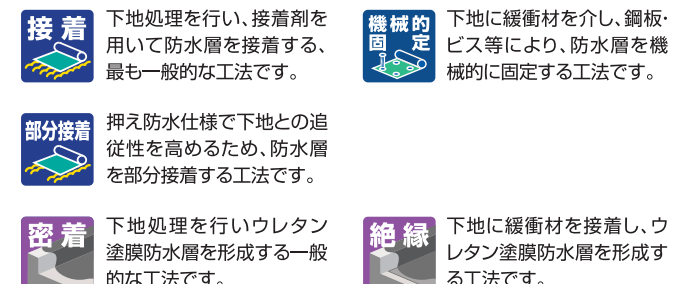
5 適応構造・下地

防水工事を行う下地の構造・種類を選択します。



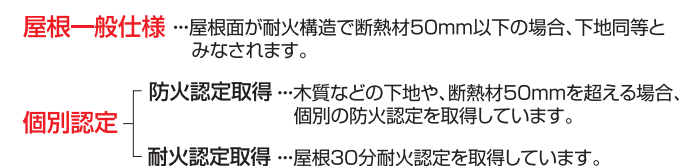
6 工法

適用部位・用途等に応じて最適な工法を選択します。



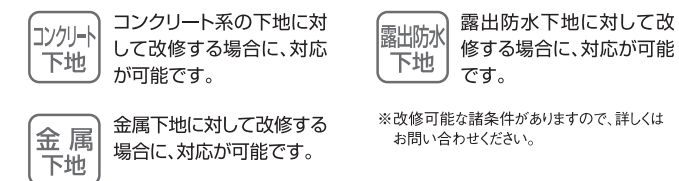
7 耐火・防火

防火・準防火地域での施工において、建築基準法に基づく耐火・防火性能の認定を取得しているか確認し、適切な仕様を選択します。



8 改修対応

改修工事において、現状の構造・下地から適切なシステムを選択します。



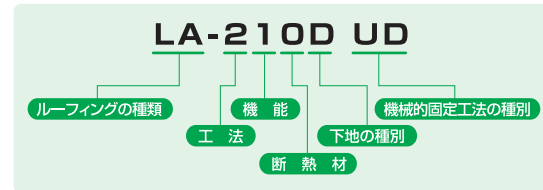
設計上の共通注意点(エルエスプール防水仕様を除く)

- 勾配は躯体でとり、1/100以上とします。
- 下地出隅は8～10Rの面取り、入隅は直角仕上とします。
- 立上りの高さは400mm以上とします。
- ドレインはシート防水用を使用し、仕上面はスラブ面より高くないようにします。
- ドレインは壁、パラペットから300mm以上離して設置します。
- 壁面部の水切りは躯体でとり、奥行きは10～50mmとします。
- 建物の立地条件・形状・階数により固定強度を計算します。
- 改修の場合は、下地強度を測定します。
- ALCまたはPC下地の場合は、パネルの接合部、欠損部に樹脂モルタルを充填し、平滑に仕上げます。

※特に改修の場合など、実際の建物では一致しない場合もございます。納まり等で対応できる場合もございますので、弊社営業担当までご相談ください。

防水システム早見表

■仕様記号の説明



ルーフィングの種類

LSN … ロンブルーシャネツ(遮熱・高反射タイプ)
 BSN … ベストブルーシャネツ(遮熱・高反射タイプ)
 LA … ロンブルーフェース
 NBP … ニューベストブルーフ

BRS … ベストブルーRS(補強複合タイプ)
 BP … ベストブルーフ
 BPα … ベストブルーフα(US工法専用)
 BPP … ベストブルーフプラス(接着緩衝工法専用)

LAN … ロンブルーフェース ナンネン
 BPN … ベストブルーフ ナンネン
 LSP … ロンブルーフSP(長期保証システム専用)
 LS … エルエスフール(プール防水専用)

工法

1… 露出接着
 2… 露出機械的固定
 3… 押え部分接着

機能

1… 非断熱
 2… 断熱

断熱材の種類

0… 非断熱
 2… PF(フェノール)
 3… PE(ポリエチレン)

下地の種別

5… PS(ポリスチレン)
 6… PU(硬質ウレタン/接着用)
 7… PU(硬質ウレタン)
 9… その他

機械的固定工法の種別

UD… UD工法(先付け工法)
 US… US工法(後付け工法)
 ※機械的固定工法の場合のみ表記
 D… 金属下地(耐火デッキプレート下地を含む)
 WD… 木毛セメント板+耐火デッキプレート下地(SD-S(DR-1648)仕様)
 FPIS… FPIS屋根仕様(木毛セメント板+耐火デッキプレート下地)
 ※上記以外の場合は、非表示

一般仕様

仕様	露出
工法	接着
断熱	非断熱
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 日本建築学会建築工事標準仕様書 (JASS B)	S-F2 S-F2 S-PF
ロンシール防水仕様	110仕様
ページ	P.19-20
用途	歩行 非歩行 点検歩行
適合仕様	LSN-110 LA-110 BSN-110 NBP-110 BRS-110 BP-110
適用部位	陸屋根 ○ 勾配屋根 ○ バルコニー ○
適応下地	RC ○ PC ○ ALC ○ 金属 ○ 木質 ○* 木片セメント板 - 木毛セメント板 -
改修工事対応	コンクリート下地 ○ 露出防水下地 ○ 金属下地 △
耐火・防火	(屋根一般仕様) ○ (個別認定) * 飛び火認定取得

仕様	露出
工法	接着 + 機械的固定
断熱	断熱
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 日本建築学会建築工事標準仕様書 (JASS B)	SI-F2 SI-F2 S-PFT
ロンシール防水仕様	123仕様
ページ	P.21-22
用途	歩行 非歩行 点検歩行
適合仕様	LSN-123 BSN-123 LA-123 NBP-123 BRS-123 BP-123
適用部位	陸屋根 ○ 勾配屋根 - バルコニー ○
適応下地	RC ○* PC ○* ALC ○* 金属 - 木質 ○* 木片セメント板 - 木毛セメント板 -
改修工事対応	コンクリート下地 ○ 露出防水下地 ○ 金属下地 △
耐火・防火	(屋根一般仕様) ○ (個別認定) * 飛び火認定取得

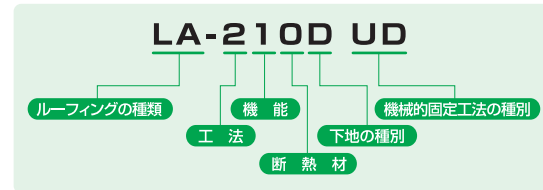
仕様	露出
工法	機械的固定
断熱	非断熱
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 日本建築学会建築工事標準仕様書 (JASS B)	S-M2 S-M2 S-PM
ロンシール防水仕様	210仕様
ページ	US P.27-28 UD P.29-30
用途	歩行 非歩行 点検歩行
適合仕様	LSN-210 US LA-210 US BSN-210 US NBP-210 US BRS-210 US BP-210 US BPα-210 US
適用部位	陸屋根 ○ 勾配屋根 ○ バルコニー ○
適応下地	RC ○ PC ○ ALC ○ 金属 ○ 木質 ○* 木片セメント板 - 木毛セメント板 ○*
改修工事対応	コンクリート下地 ○ 露出防水下地 ○ 金属下地 -
耐火・防火	(屋根一般仕様) ○ (個別認定) * 飛び火認定取得

仕様	押え
工法	部分接着
断熱	非断熱
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 日本建築学会建築工事標準仕様書 (JASS B)	SI-M2 SI-M2 S-PMT
ロンシール防水仕様	310仕様
ページ	P.35-36
用途	重歩行 点検歩行
適合仕様	LSN-225-227 US BSN-225-227 US LA-225-227 US NBP-225-227 US BRS-225-227 US BP-225-227 US BPα-225 US
適用部位	陸屋根 ○ 勾配屋根 ○ バルコニー -
適応下地	RC ○* PC ○* ALC ○* 金属 - 木質 - 木片セメント板 - 木毛セメント板 -
改修工事対応	コンクリート下地 ○ 露出防水下地 ○ 金属下地 -
耐火・防火	(屋根一般仕様) ○ (個別認定) * 飛び火認定取得

シート防水システム
 早見表
 一般仕様
 個別仕様
 オフショーン
 ルーフィング
 資材
 納まり図
 FPS屋根
 長期防水保証システム
 エルエスフール防水システム
 公的仕様書
 FMサポート
 関連技術資料
 施工実績

防水システム早見表

■仕様記号の説明



ルーフィングの種類

LSN … ロンブルーシャネツ(遮熱・高反射タイプ)
 BSN … ベストブルーシャネツ(遮熱・高反射タイプ)
 LA … ロンブルーフェース
 NBP … ニューベストブルーフ

BRS … ベストブルーRS(補強複合タイプ)
 BP … ベストブルーフ
 BPα … ベストブルーフα(US工法専用)
 BPP … ベストブルーフプラス(接着緩衝工法専用)

LAN … ロンブルーフェース ナンネン
 BPN … ベストブルーフ ナンネン
 LSP … ロンブルーフSP(長期保証システム専用)
 LS … エルエスプール(プール防水専用)

工法

1 … 露出接着
 2 … 露出機械的固定
 3 … 押え部分接着

機能

1 … 非断熱
 2 … 断熱

断熱材の種類

0 … 非断熱
 2 … PF(フェノール)
 3 … PE(ポリエチレン)

下地の種別

5 … PS(ポリスチレン)
 6 … PU(硬質ウレタン/接着用)
 7 … PU(硬質ウレタン)
 9 … その他

機械的固定工法の種別

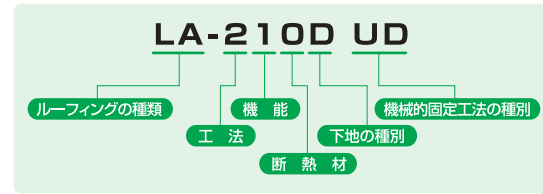
UD … UD工法(先付け工法)
 US … US工法(後付け工法)
 ※機械的固定工法の場合のみ表記

※上記以外の場合は、非表示

個別仕様		金属下地屋根				下地処理簡略化	ウレタン塗膜防水			耐火認定構法	長期防水保証システム	LSプール	
特長	遮熱防水						ウレタン塗膜防水			金属下地屋根 構造体耐火認定取得	高耐久防水	プール防水	
仕様	露出												
工法	接着 または 機械的固定	接着	機械的固定				接着	密着	密着クロス	絶縁	機械的固定	機械的固定	機械的固定
断熱	併用する仕様 に準じる					非断熱	非断熱				非断熱 または 	非断熱	
規格	国土交通省 公共建築工事標準仕様書 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 日本建築学会建築工事標準仕様書 (JASS 8)	参考となる仕様(ノ)				参考となる仕様(ノ)				参考となる仕様(ノ)			
ロンシール 防水仕様	ロンブルーシャネツ ベストブルーシャネツ 防水仕様	SD-B 仕様	SD-S・EZ 仕様 耐火デッキプレート下地 山谷タイプ	SD-F 仕様 耐火デッキプレート下地 フラットタイプ	SD-S (DR-1648) 仕様 指定耐火デッキプレート +木毛セメント板下地	SD-1 仕様	ベストブルーフ プラス 仕様	ロンレタン 防水仕様 U-1	ロンレタン 防水仕様 U-2・3	ロンレタン 防水仕様 U-4	FPIS屋根 耐火断熱防水仕様 SD-FPIS	ロンブルーフSP 防水仕様	エルエスプール 防水仕様
ページ	P.37-38	P.39-40	P.41-42	P.43-44	P.45-46	P.47-48	P.49-50	P.51-52	P.53-54	P.55-56	P.124-129	P.130-139	P.140-153
用途	ルーフィング・ 下地による ※併用する仕様 に準じる												
適合仕様 (ルーフィング)	LSN BSN	LSN LA BSN NBP BRS BP	LSN LA BSN NBP BRS BP	BPα* *US工法限定 BPN* *飛び火認定時	BPN-222WD US BPN-222WD UD	LSN LA BSN NBP BRS BP	BPP-110	U-1	U-2 U-3	U-4	BPN-222FPIS US BPN-222FPIS UD	LSP-210US LSP-225US	LS-210
適用部位	陸屋根 勾配屋根 バルコニー	併用する仕様 に準じる											
適応下地	RC PC ALC 金属 木質 木片セメント板 木毛セメント板	併用する仕様 に準じる											
改修工事 対応	コンクリート下地 露出防水下地 金属下地	併用する仕様 に準じる											
耐火・防火 (個別認定)	併用する仕様 に準じる	○(耐火認定下地)	○(耐火認定下地) 山谷タイプ		○(耐火認定下地) フラットタイプ	○(耐火認定下地)	○	○	○	○	○	○	○
	併用する仕様 に準じる	○	* 耐火認定下地 / 飛び火認定取得		指定耐火認定下地 / 飛び火認定取得	* 飛び火認定取得	* 飛び火認定取得	○	○	○	○	○	○

国土交通省仕様記号別 インデックス

■仕様記号の説明



ルーフィングの種類

- LSN … ロンブルーシャネツ(遮熱・高反射タイプ)
- BSN … ベストブルーシャネツ(遮熱・高反射タイプ)
- LA … ロンブルーフェース
- NBP … ニューベストブルーフ
- BRS … ベストブルーRS(補強複合タイプ)
- BP … ベストブルーフ
- BPα … ベストブルーフα(US工法専用)
- BPP … ベストブルーフプラス(接着緩衝工法専用)

工法

- 1 … 露出接着
- 2 … 露出機械的固定
- 3 … 押え部分接着

機能

- 1 … 非断熱
- 2 … 断熱

断熱材の種類

- 0 … 非断熱
- 2 … PF(フェノール)
- 3 … PE(ポリエチレン)

下地の種別

- 5 … PS(ポリスチレン)
- 6 … PU(硬質ウレタン/接着用)
- 7 … PU(硬質ウレタン)
- 9 … その他

機械的固定工法の種別

- UD … UD工法(先付け工法)
- US … US工法(後付け工法)

※上記以外の場合は、非表示

仕様	塩ビシート防水工法						ウレタン塗膜防水工法			プール防水工法		
	露出						非露出			露出	プール	
国土交通省 公共建築工事 標準仕様書	S-F2	SI-F2	非該当	S-M2	SI-M2	非該当	非該当	非該当	X-1	X-2	非該当	非該当
一般工法名称	接着工法	接着・断熱工法		機械的 固定工法	機械的固定・断熱工法		部分接着工法	部分接着・ 断熱工法	絶縁工法	密着工法 (クロス挿入工法)	密着工法	機械的固定工法
ロンシール 防水仕様	110仕様 P.19-20	123仕様 P.21-22		210仕様 [US・UDI工法] P.27-30	225仕様 [US・UDI工法] P.31-34				ロンレタン 防水仕様 U-4 P.55-56	ロンレタン 防水仕様 U-2 P.53-54		
	ベストブルーフ プラス仕様 (BPP-110) P.49-50	125・127 仕様 P.23-24	SD-B 仕様 P.39-40	ロンブルーフSP 防水仕様 (LSP-210US) P.131-132	125・127 仕様 P.23-24	SD-S仕様 [US・UDI工法] P.41-42	310仕様 P.35-36	325仕様 P.35-36		ロンレタン 防水仕様 U-3 P.53-54	ロンレタン 防水仕様 U-1 P.51-52	エルエスプール 防水仕様 P.140-153
特記仕様	ロンブルーフシャネツ・ベストブルーフシャネツ仕様 各適用仕様準じます。 P.37-38											

塩ビシート防水選択にあたっての注意

国土交通省 公共建築工事標準仕様書では、塩ビシート防水の場合、下地はRC下地・PC下地(接着工法のみALCも可)限定になります。シート厚みについても、接着工法は2.0mm厚(ロンブルーフェース(LA)・ロンブルーシャネツ(LSN))、機械的固定工法は1.5mm厚(ベストブルーフ(BP)、ニューベストブルーフ(NBP)、ベストブルーRS(BRS)、ベストブルーシャネツ(BSN))に制限されるため、規定外のシート厚みを使用する際には、特記仕様扱いとなりますので、ご注意ください。仕様記号SI-M2の断熱材は、押出法ポリスチレンフォーム・硬質ウレタンフォーム限定です。

ウレタン塗膜防水選択にあたっての注意

国土交通省 公共建築工事標準仕様書では、ウレタン塗膜防水の下地はRC下地限定になります。ロンレタン防水は、硬化物密度が1.3Mg/m³のため、換算した使用量になります。